

い

編集発行：池田市議会
住所：大阪府
池田市城南
1丁目1番1号
郵便番号：563-8666
TEL：072-752-1111
FAX：072-753-5414
http://www.city.ikeda.
osaka.jp/

いけだ

No.170

いけだ市議会だより

令和2年(2020年)8月1日



新学校給食センター

5月臨時会 2

正副議長あいさつ

4月臨時会 2

各委員会委員一覧 3

6月定例会 4

意見書 4

議決結果 5

一般質問 6

委員会レポート 11

議会日誌 12

やまばと 12

～録画映像配信を行っています～

市議会では、4月・5月臨時会及び本号 P.6～P.10 に掲載の一般質問の録画映像を外部サイト「YouTube」において、配信しております。

また、新型コロナウイルス感染症の対応に当たっている医療従事者を応援するため、議場内に「ありがとう」のメッセージを掲示していますので、ぜひ御覧ください。



池田市議会 映像 🔍

5月臨時会



5月18日に開会し、市長から報告案件2件と人事案件2件が提出され、いずれも承認・同意し、「新型コロナウイルス感染症の拡大阻止に向けさらなる対策強化を求める意見書」を採択しました。
その後、議長・副議長はじめ各委員会の委員長等を選任し、閉会しました。
なお、議長・副議長、各委員会委員については、掲載のとおりです。

就任の挨拶



議長 多田 隆一



副議長 山元 建

市民の皆様には平素から市政並びに市議会に対し温かい御理解と御協力をいただき、心からお礼申し上げます。

このたび私たちは、5月の臨時会におきまして、第79代の議長・

副議長に就任いたしました。もとより微力ではございますが、市民の皆様の信頼に応えるべく、全身全霊で取り組んでまいれる所存ですので、よろしくお願い申し上げます。
さて、現在、我が国はもとより、世界中が、新型コロナウイルス感染症の影響により、前代未聞の試練に直面しております。

まずもって、新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々の御冥福をお祈り申し上げるとともに、現在治療中の方々の一日も早い御回復をお祈り申し上げます。また、医療や福祉など、最前線の現場で御尽力されている方々に深く敬意を表し、感謝申し上げます。

このような中、本市におきましても、市民生活や地域経済が多大な影響を受けており、さらなる感染拡大や企業、商店、そして個人をも直撃している経済的な不安、

また、家庭内や人間関係におけるストレスなどへのきめ細やかな対応が、より一層求められています。

一三元代表制の一翼を担う本市議会といたしましては、「新型コロナウイルス感染症対策支援本部」を設置し、市の対策本部と連携しながら、そのような不安や苦悩を抱える市民の皆様の生活支援や経済対策に全力で取り組み、この困難を乗り越えてまいりたいと考えております。

また、新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」の実践をはじめ、日常生活を取り戻すことももちろんのこと、本市のさらなる発展のため、市民の皆様の声を市政に反映させるべくしっかりと議論を重ねてまいります。

さらに、私ども市議会は、「チーム議会」として一致団結し、市民の皆様に池田に住んでよかったと思っただけできるよう、誠心誠意対応してまいりたいと決意を新たにしております。

どうか今後とも、市民の皆様方より一層の御支援、御指導を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

議会選出の監査委員に

中田 正紀 議員

今回、議会選出の監査委員に、中田正紀議員を選任しました。

4月臨時会

4月30日に臨時会を開会し、報告案件9件のほか、大阪府と市町村の共同事業として、大阪府が休業を要請した事業者に対する支援金を給付する新型コロナウイルス感染症対策休業要請支援事業に係る一般会計補正予算を審議し、いずれも承認・可決しました。

その後、議員提出議案として、「市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例」に定める議員報酬の特例に関する条例の制定について」を上程し、全会一致で可決しました。

また、「(仮称)個人事業主支援事業」に係る補正予算の編成を求める決議」に関する動議が提出され、全会一致で決議しました。

今回、議員提案により、令和2年5月から10月までの議員報酬及び6月の期末手当を20%削減しました。そして、それらを原資として、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている児童扶養手当受給世帯に対し、1世帯5万円の給付金を支給する市独自の支援策の実施が実現しました。

※別紙カラー印刷チラシも併せて御覧ください。

常任委員会・議会運営委員会・特別委員会

常任委員会

◎委員長 ○副委員長 () 所属会派 議席順

総務委員会

定数6



にしがき さとし
◎西垣 智
(自民同友会)



しもさこ あきら
○下窄 明
(新生クラブ)



ふじもと まさひろ
藤本 昌宏
(公明党)



あくろ よしお
安黒 善雄
(大阪維新の会池田)



やまもと たけし
山元 建
(日本共産党)



わたなべ ちよし
渡邊 千芳
(青風会)

文教病院委員会

定数6



やまだ まさし
◎山田 正司
(青風会)



こばやし よしみつ
○小林 吉三
(日本共産党)



いしだ たかし
石田 隆史
(無所属)



なかつ まさのり
中田 正紀
(青風会)



はまち しんいちろう
浜地 慎一郎
(自民同友会)



まえだ さとし
前田 敏
(新生クラブ)

厚生委員会

定数5



こばやし よしのり
◎小林 義典
(自民同友会)



あらか まさみ
○荒木 眞澄
(公明党)



もりや ひろみち
守屋 大道
(青風会)



たきざわ ともこ
瀧澤 智子
(大阪維新の会池田)



ふじわら みちこ
藤原 美知子
(日本共産党)

土木消防委員会

定数5



かわにし じろう
◎川西 二郎
(青風会)



みやけ まさき
○三宅 正起
(大阪維新の会池田)



さかがみ しょうえい
坂上 昭栄
(新生クラブ)



ただ りゅういち
多田 隆一
(公明党)



ほそい かおる
細井 馨
(自民同友会)

議会運営委員会

◎委員長 ○副委員長 議席順

定数	委 員 氏 名
8	◎多田 隆一 ○山元 建 安黒 善雄 小林 義典 荒木 眞澄 藤原美知子 前田 敏 渡邊 千芳

特別委員会

◎委員長 ○副委員長 議席順

委員会名	定数	委 員 氏 名
空港・交通問題調査特別委員会	10	◎安黒 善雄 ○守屋 大道 藤本 昌宏 三宅 正起 浜地慎一郎 小林 義典 小林 吉三 前田 敏 川西 二郎 山田 正司
まちづくり防災特別委員会	10	◎藤原美知子 ○瀧澤 智子 下窄 明 西垣 智 石田 隆史 中田 正紀 荒木 眞澄 坂上 昭栄 細井 馨 渡邊 千芳
市議会だより編集特別委員会	6	◎藤本 昌宏 ○小林 吉三 守屋 大道 瀧澤 智子 小林 義典 坂上 昭栄

6月定例会

6月5日に開会し、市長から提出された報告案件2件と議案6件、並びに人事案件3件を本会議及び委員会にて審議を行い、いずれも可決・同意しました。

6月24日・25日の継続会では、市民の声を広く市政に反映させるため、15人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

また、市長から提出された追加議案1件を審議し、原案どおり可決し、6月定例会を閉会しました。

一般会計繰越明許費 繰越計算書の報告

本年3月の定例会において可決し、予算措置された国の補正予算に係る国庫支出金を活用した事業などの予算を、本年度に繰り越したことが報告されました。

繰り越した事業としては、児童生徒の「一人一台端末環境」の構築に向けた高速大容量の校内通信ネットワーク整備事業や、学校給食センター建設事業、小・中学校等への空調機器整備事業のほか、プレミアム付商品券発行事業、橋りょう長寿命化事業などがあります。

水道事業会計予算 繰越計算書の報告

※繰越明許費とは、歳出予算の経費のうち、年度内にその支出を終わらない見込みのあるものについて、翌年度に繰り越して使用することができるとの経費のことです。

令和元年度水道事業会計予算に計上していた、石橋1丁目地内における配水管布設工事及び配水管布設替工事に係る予算を、本年度に繰り越したことが報告され、工事内容や今後の工事スケジュールなどについて、質疑がありました。

池田地域交流センターの整備 に向け、池田会館を供用廃止

共同利用施設池田会館と栄本町コミュニティセンターを統合し、新たに池田地域交流センターを整備するため、本年9月末で、池田会館の供用を廃止する条例改正案が提案されました。

審議の中では、活用する財源、住民説明会における市民要望の基本設計への反映状況、統合する2施設の課題を踏まえた新施設の運営方針、指定緊急避難場所である池田会館廃止後の代替施設とその周知方法、公共施設の個別施設計画策定の見通しなどについて質疑がありました。全会一致で可決しました。

新型コロナウイルス感染症 対策に係る追加予算を可決

国の第2次補正予算の成立に伴い、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている低所得のひとり親世帯等に対して、臨時特別給付金を市独自策に追加して支給する事業や、住居を失うおそれが生じている方等に対して、住居確保給付金を支給する事業の予算を増額する一般会計補正予算が追加議案として提出されました。

審議の中では、ひとり親世帯臨

時特別給付金の対象世帯数や、対象となる条件、生活困窮者住居確保給付金の拡充内容や利用状況、国の第2次補正に伴う今後の市独自施策などについて質疑がありました。

その他、「コロナ禍における生活困窮者からの相談には、丁寧に寄り添い、相談に乗りたい」「生活支援として、相談窓口を一本化されたい」との要望が出されましたが、全会一致で可決しました。

意見書

6月定例会においては、次の意見書を採択し、関係機関に送付しました。

○地方財政の充実強化を求める意見書



○市長提出議案及び議決の結果（4月臨時会・5月臨時会・6月定例会）

議 案 名	議決の結果
専決事項の指定に係る処分報告について 専決第3号 損害賠償の専決処分について	報 告
処分報告について 専決第1号 池田市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	承 認(全員異議なし)
処分報告について 専決第2号 池田市介護保険条例の一部改正について	承 認(全員異議なし)
処分報告について 専決第3号 池田市市税条例等の一部改正について	承 認(全員異議なし)
処分報告について 専決第4号 令和元年度池田市一般会計補正予算(第13号)	承 認(全員異議なし)
処分報告について 専決第5号 池田市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	承 認(全員異議なし)
処分報告について 専決第6号 池田市国民健康保険条例の一部改正について	承 認(全員異議なし)
処分報告について 専決第7号 令和2年度池田市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	承 認(全員異議なし)
債権の放棄に係る報告について	報 告
令和2年度池田市一般会計補正予算(第2号)	原案可決(全員異議なし)
処分報告について 専決第8号 池田市市税条例の一部改正について	承 認(全員異議なし)
処分報告について 専決第9号 令和2年度池田市一般会計補正予算(第3号)	承 認(全員異議なし)
池田市監査委員の選任について	同 意(全員異議なし)
池田市監査委員の選任について	同 意(全員異議なし)
令和元年度池田市水道事業会計予算繰越計算書について	報 告
令和元年度池田市一般会計繰越明許費繰越計算書について	報 告
池田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
共同利用施設条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
大阪広域水道企業団の共同処理する事務の変更及び大阪広域水道企業団規約の変更に関する協議について	原案可決(全員異議なし)
動産の取得について	原案可決(全員異議なし)
池田市農業委員会委員の任命について	同 意(全員異議なし)
財産区管理委員の選任について	同 意(全員異議なし)
人権擁護委員の推薦に関する諮問について	同 意(全員異議なし)
令和2年度池田市一般会計補正予算(第4号)	原案可決(全員異議なし)
令和2年度池田市一般会計補正予算(第5号)	原案可決(全員異議なし)

○議会・議員提出議案及び議決の結果（4月臨時会・5月臨時会）

議 案 名	議決の結果
池田市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例に定める議員報酬の特例に関する条例の制定について	原案可決(全員異議なし)
議長辞職の許可について	許 可(全員異議なし)
議長の選挙について	終 結
副議長辞職の許可について	許 可(全員異議なし)
副議長の選挙について	終 結
議会運営委員会委員の選任について	選 任(全員異議なし)
常任委員会委員の選任について	選 任(全員異議なし)
常任委員会委員長長の選任について	選 任(全員異議なし)
常任委員会副委員長長の選任について	選 任(全員異議なし)
大阪府都市競艇企業団議会議員の選挙について	終 結
特別委員会委員の選任について	選 任(全員異議なし)
特別委員会委員長長の選任について	選 任(全員異議なし)
特別委員会副委員長長の選任について	選 任(全員異議なし)



一般質問は、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただすもので、定例会に限って行います。今議会は15人の議員が市政全般について、市長及び関係部署の考えをただしました。主な内容は次のとおりです。

(一般質問の内容については、質問議員各自の原稿によって編集しています。)

問 地域分権制度の現状と課題について

(新生クラブ)

行政の取組の反省から予算提案権と令和3年度で協議会の廃止を明言し、令和4年度より地域要望制度を新たにつくり、事業予算に反映すると提言。見解を問う。

答 地域と議論を重ね合意形成を図っていききたい

コロナ禍で協議会が一時中断し、令和4年度の移行ができるかは今後の状況と協議の進み具合で決まると考えている。幅広く市民の声を吸い上げる仕組みを取り入れ、行政がバランス感覚を持って必要な事業を見極め、行政と地域が一体となるまちづくりを行っていく。

問 市長の市政レポート内の記載内容について

(青風会)

2020年6月に発行された市長の市政レポートの記事で複数箇所の事実誤認に基づく虚偽記載が確認されたが、詳細について問う。

答 厳密でない記載があった

指摘のとおり、厳密でない内容の記載が数か所見つかった。この原因は、市長と行政職員との伝達系統に問題があったものであり、市長として謝罪する。

問 いけだサンシー株の突然の解散に疑義あり

(青風会)

昨年10月、いけだサンシー株が城跡公園の指定管理を受けられなかった頃から市長は税金を垂れ流すいけだサンシー株を存続させられないと解散の方向性を視野に入れていたにもかかわらず、3月議会でいけだサンシー株が主導する商業活性化の予算を上程し、可決した数日後突然の解散命令を出した。これは議会を無視した解散であり、何か後ろめたさがあったのではと感じる。なぜ3月議会で解散の方向性を説明しなかったのか。

答 最後の最後まで存続させようと努力していた

3月議会終了までいけだサンシー株には期待し存続に努力したが、3月下旬に多くの株主から解散要望があり、解散を要請した。

問 パワーハラスメントされたと言っているが

(青風会)

いけだサンシー株や池田市再開発ビルの社長は富田市長との話し合いの際、パワーハラスメントにあったと言っているが。

答 微妙な話し合いなので相手を尊重して対応

相手の立場を理解し、相手の思いを聞いて対応した。

問 役員交代でなく解散を指示した理由は

(新生クラブ)

本市におけるDMO構想推進を担ったいけだサンシー株に対し、本年度予算成立後わずか6日後に解散を指示した経緯と理由を問う。

答 株主の意向を尊重し解散を要請した

市長就任直後新たな事業提案を要請し約1年間協議してきた。しかし、活動継続に当たり財政安定化を図るための池田城跡公園の指定管理は受注できず、実績を残せなかった。また、株主からまちづくりの機能を果たさず資産の目減りを防ぐため解散の声が上がったことから、本市としてその役割を終えたと判断し、解散を要請した。



一般質問議員

一般質問を行った議員は、次のとおりです。

- 1 守屋 大道 (青 風 会)
- 2 坂上 昭 栄 (新 生 ク ラ ブ)
- 3 瀧澤 智 子 (大阪維新の会池田)
- 4 下 窄 明 (新 生 ク ラ ブ)
- 5 中 田 正 紀 (青 風 会)
- 6 荒 木 眞 澄 (公 明 党)
- 7 三 宅 正 起 (大阪維新の会池田)
- 8 石 田 隆 史 (無 所 属)
- 9 小 林 吉 三 (日 本 共 産 党)
- 10 安 黒 善 雄 (大阪維新の会池田)
- 11 藤 原 美知子 (日 本 共 産 党)
- 12 山 元 建 (日 本 共 産 党)
- 13 浜 地 慎一郎 (自 民 同 友 会)
- 14 細 井 馨 (自 民 同 友 会)
- 15 渡 邊 千 芳 (青 風 会)

(※質問順)

問 まちづくり会社の経営のチェックについて
(新生クラブ)

答 まちづくり会社の経営状況をチェックするため、市民や議会に対して説明することを定める条例を整備してはどうか。また、いけだサンシー(株)が担ってきた地域ブランド事業の推進について問う。

答 条例については是非を含めて検討する

イベント等は民間団体が主体と考えており、運営には直接携わらないがPR等側面的な支援は行う。

問 いけだサンシー(株)解散後の観光行政の行方
(無所属)

答 いけだサンシー(株)がコロナ禍の最中、本年4月に突然解散した。同社の受託事業の継続と今後の池田DMOや観光行政について問う。

答 観光案内所等はプロポーザル方式で公募する予定。

解散後は、事業者をプロポーザル方式で公募する予定。いけだサンシー(株)が事務局を務めていたイベントについては、引き続き民間主導で実施していただく。

問 事業受託のいけだサンシー(株)解散の市の責任は
(日本共産党)

答 市のにぎわい創出に貢献したいいけだサンシー(株)が市の要請で解散し、受託事業を放棄させられた。市の責任は。

答 会社存続の可能性があり業務委託した

同社の解散否決の可能性を鑑み、業務委託した。

問 国土強靱化地域計画の策定について
(自民同友会)

答 いつ発生するか分からない大規模自然災害に備え、本市においても「池田市強靱化地域計画」を早急に策定しなければならないと考えるが、策定に向けた現在の進捗状況について問う。

答 遅くとも本年度末までの完成を目指す

コロナ禍での諸施策を展開する中でも、「池田市強靱化地域計画」の策定業務を優先的に実施し、遅くとも本年度末までの完成を目指している。

問 政策・技術顧問の設置について
(自民同友会)

答 4月より着任した顧問について、3月の総務委員会では、任期は1年、職員に負担はかけないとおっしゃっていた。中身が現状と相違し、市長の発言に一貫性がないが。

答 職員の負担や疲労はない

任期については目的が成熟、達成できるまでと申した。職員への指示については担当課に対して指揮系統はないと申しただけ。



問 パワハラ防止法の施行と啓蒙活動について
(無所属)

「改正労働施策総合推進法（通称：パワハラ防止法）」が、大企業では本年6月、中小企業では令和4年4月から施行される。本市の対応と啓蒙活動となるパワハラ防止条例の制定について問う。

答 具体的な防止策の策定と相談窓口を設置

本市においては、平成28年12月職員ハラスメント防止指針を策定。同法施行に伴い、改めて文言の整備を行い、職員向けに周知を図った。また、パワハラ防止条例に関しては、検討する。

問 持続可能な財政運営のかし取りについては
(公明党)

非常事態の現在の状況下で、コロナ以外の諸課題への対策も重要であり、持続可能な財政の確保が必要不可欠。来年度の税収入の減少が見込まれる中、今後の財政運営のかし取りについて問う。

答 筋肉質な行財政体制に整えるよう実施する
第2次事業見直しにて、財源を創出することともに、財政調整基金を少しでも残し、持続可能な市政運営に資するための筋肉質な行財政体制に整えることを全庁かけて行っていく。

問 新型コロナウイルスの下子どもたちに手厚い対応を
(日本共産党)

3か月にわたる休校で、子どもたちの学力の遅れ、心身のケア、安全面を配慮した学びの保障が必要。子どもたち一人一人を大切にしている教育が、さらに必要となっている。学校再開後の対応を問う。

答 教員加配措置など前向きに考えたい

子どもたちに丁寧な指導を行う。

文科省の政策による教員の加配、スクールサポートスタッフの配置は前向きに考えたい。消毒等についての教員の負担軽減に努めたい。

高校入試は府から出題範囲が発表され、内申は中3のチャレンジテストが中止されたため、中2の時点のものを使うとしている。

今年度小6までの35人学級を導入し検証している。少人数学級は有効であり、20人学級等さらなる少人数学級は今後の研究課題。

問 コロナ禍において学校給食を無償化に
(青風会)

新型コロナウイルスにより、保護者にも失業や減収などの影響が出ている。第2波・第3波の先行きが見えない不安感で子育てをしている。学校給食の無償化を問う。

答 より効果的かつタイムリーな施策を講じる

学校給食の無償化については、所得減となる家庭も含めてひとしく家計の負担の軽減につながる施策だと考える。費用面の考慮も含め、総合的に十分検討する中で、実施の可否については適切に判断していきたい。

問 学校行事の実施と修学旅行について
(大阪維新の会池田)

2学期の学校行事を知恵をしばらく今までと違う形で実施できないか問う。

答 安易に行事を中止することなく工夫し実施

学校行事については、学習成果の発表の場でもあり、保護者の関心も高く、発表を通して子どもたちにとっても励みになり、成長にもつながるものと認識している。実施の有無については、密を避ける工夫を凝らし実施できるよう検討する。

修学旅行については、目的地の感染状況の把握とともに移動や宿泊先での感染予防対策を実施するなどし、修学旅行が実施可能となるよう検討する。

問 学校の暑さ対策、熱中症について
(大阪維新の会池田)

学校でのマスクの使用は夏場では大変危険を伴う。感染症と熱中症の予防をどう両立させるか問う。

**必要に応じて
マスクを外すよう対応**

手洗いの励行やマスクの着用、共用物の消毒を徹底し、新しい生活様式での学校生活を日々の教育の中で工夫する。

**通学路の安全対策
について**

(自民同友会)

平成24年亀岡市で発生した登校中の児童の事故や、全国で多発した登下校中の児童・生徒が犠牲となる交通事故を受け策定された「池田市通学路交通安全プログラム」の現状について問う。

**通学路の点検と
危険個所の対策を進める**

昨年度は、5学園の最終となる「いけだ学園」で実施し、巻きつけ看板を設置するなどの対策を講じ、今年度は、2巡回の点検を「ほそごう学園」から順次実施し、通学路の安全対策を進めていく。

**ほそごう学園の
施設について**

(大阪維新の会池田)

中庭に可動式のホワイトボードと石の椅子が設置されている。使用頻度が低く、けがをした児童が

いることから、撤去も視野に入れた対応を検討できないか。

**使用実態を含め
検討する必要がある**

ケガをした事例があり、留守家庭児童会の実情も一定理解している。設備の不具合はなく、安全上の課題はあると考えていない。

ただし、使用実態を含め、安全性が損なわれる場合は、学園と相談し撤去も含めた検討が必要。

**子ども達への
ネット・インターネット
向上の取組を**

(公明党)

子ども達のネット環境が身近になり「インターネットを使いこなす能力」が低いと様々なトラブルに巻き込まれる。そこで、子ども達のネットリテラシー向上の取組みを早期に実施すべきでは。

**情報発信の能力が
育まれるよう取り組む**

引き続き、学校園において、必要な情報を探求する力や信頼できる情報を見極める能力、得た情報を適切に発信することが育まれるよう取り組む。

**市立池田病院の
新型コロナウイルスの影響は**

(大阪維新の会池田)

市立池田病院の経営が今回の新型コロナウイルスによって、非常に厳しいと聞くと、現状は。

**紹介患者数の大幅減少もあり
現時点では減収**

4月、5月の2か月合計の入院・外来収益は、前年に比べ、1億円ほどの減収となる。現時点では年換算で約7億円のマイナス予想だが、今後の国・府からの補助金を活用し、不足額の圧縮に努める。

また、予定していた医療機器購入などの設備投資は、必要最低限にとどめざるを得ないと判断。

**新型コロナウイルス感染拡大阻止へ
検査数の拡大を**

(日本共産党)

コロナ禍拡大を抑えるには検査数の増で実態をつかみ、感染者に対し適切な措置を施すことが重要。医師会の協力を得て、PCR検査を受診できる体制を整えるべき。

大阪府が体制強化している

府や医師会と連携し、感染症対策に取り組む。

**個別接種ワクチンの
一括購入は可能か**

(大阪維新の会池田)

本市の各医院の負担軽減策として、市が個別接種ワクチンの一括購入ができないか。将来のコロナ感染症予防ワクチンのためにも。

**自治体の経費負担により
個別購入に至った**

過去、北摂の一部の自治体では一括購入していたが、経費負担の観点等から、現在はしていない。コロナ予防ワクチンに関しては、国が製造元から一括購入するなど通常のワクチンと異なる流通となる。

**コロナ禍で苦しむ
学生支援を**

(日本共産党)

学生生活が急速に悪化し「下宿代が払えない」などの声が上がっている。学費支援制度など救済策を求める。

国が対策強化

国・府の動向を注視し支援。

問 市民の営業と暮らしを守る
コロナ対策の拡充を
(日本共産党)

答 新型コロナウイルス感染症対策の最前線で闘う医療・福祉関連事業所等への減収補填の実施で医療崩壊を防ぐこと。同時に、従事者には激励の危険手当等の支給や利用減による賃金補償を。また、国・府の制度から外れる中小業者、パート・アルバイト・フリーランス等への給付で事業継続の支援を行うこと。

問 府の減収対策、国の補正等
情報収集に努める

答 大阪府でコロナ患者受入病床の空床に対する補償が予定されている。国の補正予算では医療従事者への慰労金の支給が組み込まれ、介護・福祉分野に経費支援や職員に慰労金の支給も行われる予定。中小業者や非正規労働者等への支援は他市の事例も参考に市財政を鑑みながら効果的な施策を検討中。

問 ひとり親家庭への
支援について
(大阪維新の会池田)

ひとり親家庭でありながら、市の施策である臨時特別給付金の対象外の世帯がある。支援を求める。

問 国の臨時給付金制度が創設

答 国の臨時特別給付金制度が創設された。今回の給付金は、公的年金等の受給者で児童扶養手当が支給外の者も対象となる。より幅広い世帯へ支給できるものと考えている。

問 コロナ禍での
留守家庭児童会の対応について
(新生クラブ)

答 子どもを教育する現場で双方が協力し、取り組む内容について、見解を問う。

問 経験を糧に担当部局と
密接に連携する

答 学校と留守家庭児童会が密接に連携する中で、今まで経験がない対応に学校も迫られる場面からその都度、協議を重ねて取り組んできた。留守家庭児童会に参加の子どもたちの安全、安心を図ってきたい。

問 おとな食堂への
支援策について
(自民同友会)

高齢者の居場所づくりや、孤食を防ぐ目的で開設され、これまでアクティブシニア応援基金が活用

されてきたが、市長の一存で廃止となる。高齢者を独りにしない、独りにさせない連携体制の一環と捉えているが、新たな方策を模索できないか。

問 制度の見直しを検討する

答 独り暮らしや、ひきこもりがちな高齢者の孤立を防ぎ、地域との交流を提供する重要な場所となっていることから支援の継続を検討する。

問 タクシー代の助成で
障がい者の外出支援を
(日本共産党)

答 視覚障がい者はバスや電車を乗り継いで病院に行くにも危険が伴う。タクシー代の補助を求める。

問 地域公共交通会議の
重要課題として検討する

答 社会参加のため来年度予算も視野に、テーブルに上げて検討する。

問 満寿美公園完成までの
スケジュールは
(青風会)

公園予定地には、工事用フェンスに囲まれた家屋が建っている。地元住民への説明会や満寿美公園完成までのスケジュールはどう

なっているのか。

問 地元住民の意向を反映し
令和3年度には完成

答 9月頃に解体工事を行い、満寿美町内会を通じて、地域の声・意見を伺い、具体的な事例を提示しながら、公園プランに反映する。

問 生垣設置奨励助成制度の
新設について
(青風会)

答 この制度は、まちの景観美化やCO₂削減のほか地震などの災害にも強く、安全・安心なまちづくりにも大きく寄与するものであり、日本4大植木産地でもある細河地域をアピールし、活性化させる施策と考えられるが、見解を問う。

問 細河地域振興も含めて
検討する

答 緑化施策の中で植木のまちの特色を生かすことは植木産業の活性化につながるものと考えている。生垣助成制度については、今後、状況を見極めながら検討していきたい。



委員会 レポート

6月定例会では、市長から提出された議案のうち6件の議案を、市議会に設置している4つの常任委員会に審査付託し、細部にわたり慎重に審査しました。

6月24日の本会議では、各委員長が審査の結果報告を行い、市長から提出された議案はいずれも原案どおり可決しました。各委員会での審査の主な内容は、次のとおりです。

総務委員会

石橋地域拠点施設における新図書館のコンセプトは

〈一般会計補正予算〉

問 今回、石橋地域拠点施設の建設に係る関連予算を追加補正しているが、本拠点施設は、図書館をメインに、地域子育て支援拠点施設のほか、多文化共生施設の機能を併せ持つ複合施設であるとのことである。

池田駅前の図書館は、親子連れで本を楽しむ図書館として、市

民から一定の評価を得ているものと考え、石橋地域拠点施設における新図書館のコンセプトについて問う。

答 館内の至るところで読書ができ、様々な世代と交流ができる図書館

問 石橋地域拠点施設における新図書館のコンセプトは、「市民に親しまれる 地域に開かれた 本の中の施設」で、館内の至るところで読書ができ、また、併設する、地域子育て支援拠点施設や多文化共生施設などとの連携を図りながら、高齢者も含めた様々な世代と交流ができる地域の情報発信の拠点となる図書館を目指していきたいと考えている。

文教病院委員会

全児童・生徒へのタブレット端末導入に伴う効果及び課題は

〈一般会計補正予算〉

問 本補正予算の提案は、国のIGAスクール構想に基づき、当初、令和5年度を自途に、全児童・生徒に1人1台ずつタブレット端末を段階的に導入する予定であったものが、新型コロナウイルス感染症対策による休校措置などを受

けて国がその計画を前倒しし、今年度中に全児童・生徒に導入することを決定したことに伴うものである。タブレット端末導入に伴う効果及び課題について問う。

答 子どもたちの学習の理解度が深まる一方、教育格差が広がる懸念

問 タブレット端末の導入に伴う効果としては、従来教師が行っていた資料の印刷や配付・回収などにかかっていた労力が軽減され、業務の効率化が図られることや、将来的には電子黒板と連携させてタブレット端末で瞬時に動画や教材などを見ることができるようになることも検討しており、授業がさらに活性化して子どもたちの学習の理解度が深まることが期待できる。

一方、課題としては、教師のタブレット端末の操作技能によって子どもたちに教育格差が広がる懸念があるが、ICT支援員の配置や教育委員会による各校の巡回、各校の情報教育推進担当者が教師にタブレット端末の操作方法や授業での活用方法などを研修するほか、家庭学習におけるタブレット端末の使用ルールの策定など、様々な対策を講じて、課題の解決に努めていきたいと考えている。

厚生委員会

特定地域型保育事業者と連携施設との連携の状況は

〈特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正ほか〉

問 現在、ゼロ歳児から2歳児までを受け入れている特定地域型保育事業者は、卒園後の園児の受皿となる連携施設を確保しなければならぬが、今回提案の条例改正により、市長が必要な措置を講じているときは、連携施設の確保を要しないことができるようになる。

本市における対象施設は、子どものお家ぞうさん保育園及び石橋文化保育園の2園のみであり、当該施設では、既に連携施設を確保しているとのことである。

連携施設との連携内容には、保育内容に関する支援、卒園後の園児の受皿の提供、並びに保育士等の休暇等に伴い保育が提供できない場合の代替保育の提供があるが、当該施設の現状について問う。



連携施設の園庭の利用や卒園児の受入れて連携

窓 保育内容に関する支援では、子どものお家どうさん保育園においては、連携施設のはたの保育園及び緑丘保育園の園庭を、石橋文化保育園においては、連携施設の石橋文化幼稚園が隣接しているため、日常的に同幼稚園の園庭を利用している。

また、両保育園の卒園児は、保護者の希望に沿って、主に受皿である連携施設へ入園している。

一方、代替保育の提供については、本市の指導に基づき、両保育園とも必要な保育士等の人数を確保しているため、現在のところ実績はない。

土木消防委員会

救急隊の体制確立に向け職員が増員が必要では

《動産の取得》

問 今回取得予定の高規格救急自動車は、救急隊の4隊運用が24時間体制で運用できるように計画的に車両の更新を図っていくために購入するものである。

本年4月からは、3課のうち1課で4隊運用が24時間体制で始ま

り、年間100件ほどある受援件数の削減が期待できる。

今後は、残る2課においても同様の体制を確立するために、早急に職員の増員が必要であると考えるが、見解を問う。

財源の創出を図りながら計画的な採用を検討

窓 指摘のとおり、本市はこれまでから他市の救急受援の依存度が高く、課題であった。

職員の増員については、受援件数の削減と市民の安全と安心を守るためにも、財源の創出を図りながら、計画的な採用を検討していきたいと考えている。

議会の予定

9月定例会は、次の日程で開催する予定です。本会議・委員会はいつでも傍聴できます。開会は、いずれも午前10時からの予定です。(定員あり)

※傍聴される場合は、マスクの着用及び入場時の消毒液による手洗いの徹底にご協力いただきますよう、お願いいたします。

9月3日(木)	本	会	議
9月7日(月)	委	員	会
9月8日(火)	委	員	会
9月9日(水)	委	員	会
9月14日(月)	委	員	会
9月24日(木)	本	会	議
9月25日(金)	本	会	議

議 会 日 誌

7 月					6 月					5 月		4 月			
7月16日	7月14日	7月9日	7月6日	7月3日	6月25日	6月24日	6月15日	6月12日	6月10日	6月9日	6月5日	6月2日	4月21日	4月28日	4月21日
特別委員会	市議会だより編集特別委員会	まちづくり防災特別委員会	市議会だより編集特別委員会	議会議事運営委員会	議会議事運営委員会	市議会定例会	市議会定例会	議会議事運営委員会	各派代表者会議						

やまばと

市民の皆様には日頃から市議会に対し、御理解・御協力をいただき、ありがとうございます。

長期化する新型コロナウイルス感染症に対して市議会も「新型コロナウイルス感染症対策支援本部」を設け、4月臨時会では市に具体案を提示し、市の施策として実現できました。

5月臨時会で役員改選が行われ、令和2年度の議会構成が決まり、市議会だより編集特別委員会も新メンバーで発足し、分かりやすい紙面にとり組んでいるところです。

今後も「いけだ市議会だより」を御愛読いただきますよう、よろしくお願いたします。



市議会だより編集特別委員会

委員長 藤本 昌宏 委員 瀧澤 智子
副委員長 小林 吉三 委員 小坂 義昭
委員 守屋 大 道